

2023年4月12日

課題名：墜落外傷における高さ以外の予後因子

◆研究の目的と概要◆

現在日本では高エネルギー外傷の高所墜落の定義として6m以上の墜落を定義しています。しかし、6mに満たない高さからの墜落にもかかわらず重症となる患者さんや、高所からの墜落でも軽症の患者さんが一定数存在します。そのため本研究は、墜落外傷において高さ以外の予後規定因子が存在すると仮説を立て検討することで今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019年4月から、2022年12月までの間に当院へ搬送され入院が必要であった墜落外傷患者さんが対象となっています。

◆研究に使用される情報◆

落下高さ(m)、年齢、性別、血液検査データ、CT画像データ、傷害パターン、自殺、飲酒、抗血栓薬、体重、後遺症

◆研究方法◆

本研究では、外傷データバンクへ登録した当院の診療録の情報をを用いて実施します。上記に示す、研究に使用される項目を取得し、本研究の目的を明らかにするための解析を行います。

---

\* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

\* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
救急科 研究責任者 三浦耕司

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明